



勢いよく逃げるイワナをつかまえる子どもたち

魚のつかみどりに歓声 江刈保育園お楽しみ会

江刈保育園（千葉光子園長・園児19人）は7月13日、お楽しみ会を開きました。

恒例の目玉行事は、魚のつかみ捕り大会。毎年近くの農業用水路で行っているつかみ捕りは、天候不順のため大小3つのビニールプールにイワナ60匹を放して行われました。

園児は、狭いプールの中で歓声を上げながら、次々と魚をつかまえていました。魚は何度もプールに戻され、園児の猛攻撃にグツタリ。園児はそれでも喜んでつかまえていました。

午後はスイカ割りやゲームを行い、おやつには魚の塩焼きをいただいて、親子ふれあいの楽しい一日となりました。

背筋もピンと行儀良く 幼稚園の伝統のお茶会

葛巻幼稚園（榎山節子園長・園児31人）は7月14日、お茶会を開きました。

園児は、お菓子が配られると胸元から懐紙を取り出し、手際よく取り分けていました。薄茶が配られると「お先に失礼します」「お点前ちょうだいします」とあいさつし、最後の人が飲み終えるまで、行儀良く待っていました。

同園では、約25年前からお茶会を始め、園児は毎月1回のお茶会を楽しみにしています。榎山園長は「お茶は健康にもよく、心を落ち着かせてくれます。作法を通じて、思いやりの心や忍耐力を育てたい」と話していました。



作法もバッチリ。年長の藤組の子どもたち。円内は、お茶を点てる榎山園長

マリンバ演奏で魅了 高原の夕べを楽しむ



マリンバ奏者・板垣アヤ子さん(円内)の演奏を聴く参加者

袖山高原の夕べ（くずまき高原牧場主催）は7月18日、レストハウス袖山高原で開かれ、板垣アヤ子さん（石鳥谷町在住）のマリンバ演奏を聴きながら、約70人が町特産の牛肉やワインを味わいました。

たった一度が習慣に 薬物乱用の怖さ学ぶ



生徒に扮し、薬物乱用への過程を演じる高校教員

葛巻高校（伊藤正博校長）は7月4日、薬物乱用防止教室を開きました。県薬剤師会や岩手警察署、同校教員が連携し寸劇を交えて、薬物に対する正しい知識と誘惑に負けない強い意志を持つことを訴えました。